

## 海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

### 1 海域ワーキンググループ会合の開催状況

令和 2 年 7 月 31 日 第 1 回会合開催（羅臼町）

#### 〈第 1 回会合の主な内容〉

#### ◇ 令和元年度（2019 年度）長期モニタリング項目評価調書（案）について

長期モニタリング計画第 1 期が 2022 年（令和 4 年）3 月に終了することから、今年度と来年度 2 年かけ、全体の総括を行うことについて事務局より説明。今後、データの更新も含め、次回海域ワーキンググループ会合までに、長期モニタリング項目評価調書の完成を目指す。

#### ◇ 長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）について

海域ワーキンググループが担当する評価項目 I と IV のイメージシートを作成する確認を行った。また、海域ワーキンググループが評価主体となるモニタリング項目が多い評価項目 II についても海域ワーキンググループが担当することとなったため、今後着手する。

#### ◇ 第 43 回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告（案）について

第 43 回世界遺産委員会決議項目 3.4.5 に対する保全状況報告【トドに係る報告（最終案）】について、事務局より説明した。

### 2 今後の予定及びその他

- 令和 3 年 2 月頃 令和 2 年度（2020 年度）第 2 回会合の開催（札幌市内）
- 長期モニタリング項目評価調書作成  
長期モニタリング計画第 1 期 総括による評価を実施
- イメージシート作成  
長期モニタリング項目評価調書に基づき、I、II、IV の作成
- 定期報告書作成
- 海域ワーキンググループ設置要綱改正について  
新委員及び科学委員会と兼務の委員の修正のため、要綱改正案提案

知床世界自然遺産地域科学委員会  
海域ワーキンググループ設置要綱（改正案）

1 目的

知床世界自然遺産地域における海域の保全と海域管理計画の推進状況及び見直しに対する科学的立場からの助言を得るため、知床世界自然遺産地域科学委員会設置要綱第4条第4項に基づき、海域ワーキンググループを設置する。

2 構成

○ 委員

（科学委員会委員）

小林 万里	東京農業大学教授
桜井 泰憲 【座長】	函館頭足類科学研究所所長(北海道大学名誉教授)
牧野 光琢	東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター教授
三寺 史夫	北海道大学低温科学研究所教授
綿貫 豊	北海道大学大学院水産科学研究院教授

（特別委員）

千葉 晋	東京農業大学教授
服部 寛	東海大学名誉教授
隼野 寛史	北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場さけます資源部長
松田 裕之	横浜国立大学大学院教授
美坂 正	北海道立総合研究機構釧路水産試験場調査研究部長
三谷 曜子	北海道大学北方生物圏フィールドセンター准教授
山村 織生	北海道大学大学院水産科学研究院准教授

○ オブザーバー

羅臼漁業協同組合、斜里第一漁業協同組合、ウトロ漁業協同組合、網走漁業協同組合、公益財団法人知床財団

○ 地元自治体

斜里町、羅臼町

○ 関係行政機関

第一管区海上保安本部、水産庁、林野庁（北海道森林管理局）、北海道水産林務部等

○ 事務局

環境省（釧路自然環境事務所）、北海道環境生活部